確定申告書（第二表）の書き方見本

令和××年分　給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者 住所又は居所	○○市△△町×－×－×
氏名	キコウ　タロウ　機構　太郎
種類	給料・賞与
⑨ 支払金額	6 800 000
⑩ 所得控除の額の合計額	5 020 000
⑪ 源泉徴収税額	2 608 484
⑫	146 600
扶養親族の数（配偶者を除く。）	老人 1
障害者の数（本人を除く。）	1
社会保険料等の金額	1,053 484
生命保険料の控除額	40 000
地震保険料の控除額	25 000

配偶者の合計所得	
氏名	キコウ　ハナコ　機構　花子
氏名	キコウ　イチロウ　機構　一郎
氏名	キコウ　ジロウ　機構　次郎
⑬ 住所（居所）又は生年月日	○○区△△×－×－×
名称又は氏名	○○株式会社

○この申告書は、二枚目が控用（複写式）となっています。

令和 0× 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書　整理番号　FA2304

第二表（令和六年分用）（第二表は、第一表と一緒に提出してください。）国民年金保険料や社会保険料の支払証明書など申告書に添付しなければならない書類は添付書類台紙などに貼ってください。

住所 屋号：○市△町×－×－×
フリガナ 氏名：キコウタロウ 機構　太郎

○ 所得の内訳（所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額）

所得の種類	種目	給与などの支払者の「名称」及び「法人番号又は所在地」等	収入金額	源泉徴収税額
給与	給料	○○株式会社 ○○区△△×-×-×	6,800,000 円	146,600 円
		㊷ 源泉徴収税額の合計額		146,600 円

○ 総合課税の譲渡所得、一時所得に関する事項（⑪）

所得の種類	収入金額	必要経費等	差引金額
	円	円	円

○ 配偶者や親族に関する事項（⑳～㉓、㉞、㊴、㊹）

氏名	個人番号	続柄	生年月日	障害者	国外居住	住宅	住民税	その他
機構　花子	△△△△△△△△△△△△	配偶者	明・大 昭・平 △△・△・△	障 特障	国外	年調 特定	同一 別居	2
機構　一郎	○○○○○○○○○○○○	子	明・大 昭・平 ○○・○・○	障 特障		年調 特定	16 別居	2
機構　次郎	×××××××××××××	子	明・大 昭・平 ××・×・×	障 特障		年調 特定	16 別居	2
			明・大 昭・平 ・・	障 特障		年調 特定	16 別居	
			明・大 昭・平 ・・	障 特障		年調 特定	16 別居	

○ 事業専従者に関する事項（㊾）

事業専従者の氏名	個人番号	続柄	生年月日	従事月数・程度・仕事の内容	専従者給与（控除）額
			明・大 昭・平 ・・		円
			明・大 昭・平 ・・		

○ 住民税・事業税に関する事項

住民税 非上場株式の少額配当等	非居住者の特例	配当割額控除額	株式等譲渡所得割額控除額	給与、公的年金等以外の所得に係る住民税の徴収方法 特別徴収	自分で納付	都道府県、市区町村への寄附（特例控除対象）	共同募金、日赤その他の寄附	都道府県条例指定寄附	市区町村条例指定寄附
円	円	円	円	○	○	円	円	円	円

退職所得のある配偶者・親族の氏名	個人番号	続柄	生年月日	退職所得を除く所得金額	障害者	その他	寡婦・ひとり親
			明・大 昭・平 ・・	円	障 特障	寡婦 寡夫	ひとり親

事業税：非課税所得など　番号　所得金額　円　損益通算の特例適用前の不動産所得　円　青年中の開（廃）業　開始・廃止　月日
不動産所得から差し引いた青色申告特別控除額　事業用資産の譲渡損失など　他都道府県の事務所等

上記の配偶者・親族・事業専従者のうち別居の者の氏名・住所　氏名　住所　区分　所得税で控除対象配偶者などとした専従者　氏名　給与　円　一連番号

整理欄：補完　申告区分　特例適用条文　管理　区分　所得税額　申告期限　税理士署名・電話番号

第二表

	保険料等の種類	支払保険料等の計	うち年末調整等以外
⑬⑭ 社会保険料控除		円	円
⑮ 生命保険料控除	新生命保険料	円	円
	旧生命保険料		
	新個人年金保険料		
	旧個人年金保険料		
	介護医療保険料		
⑯ 地震保険料控除	地震保険料	円	円
	旧長期損害保険料		

本人に関する事項（㉑～㉙）：寡婦 □死別 □離婚 □生死不明 □未帰還　ひとり親　勤労学生 □年調以外かつ専修学校等　障害者　特別障害者

○ 雑損控除に関する事項（㉖）

損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など
	・・	

損害金額　円　保険金などで補塡される金額　円　差引損失額のうち災害関連支出の金額　円

○ 寄附金控除に関する事項（㉘）

寄附先の名称等　寄附金　円

特例適用条文等　認　令和×年×月×日居住開始 ←①